



一米手川 第三(左) 一武手川 弟次(右) 一源手川 兄長(中)て向 園葡萄の有所弟兄手川 ヤレバ

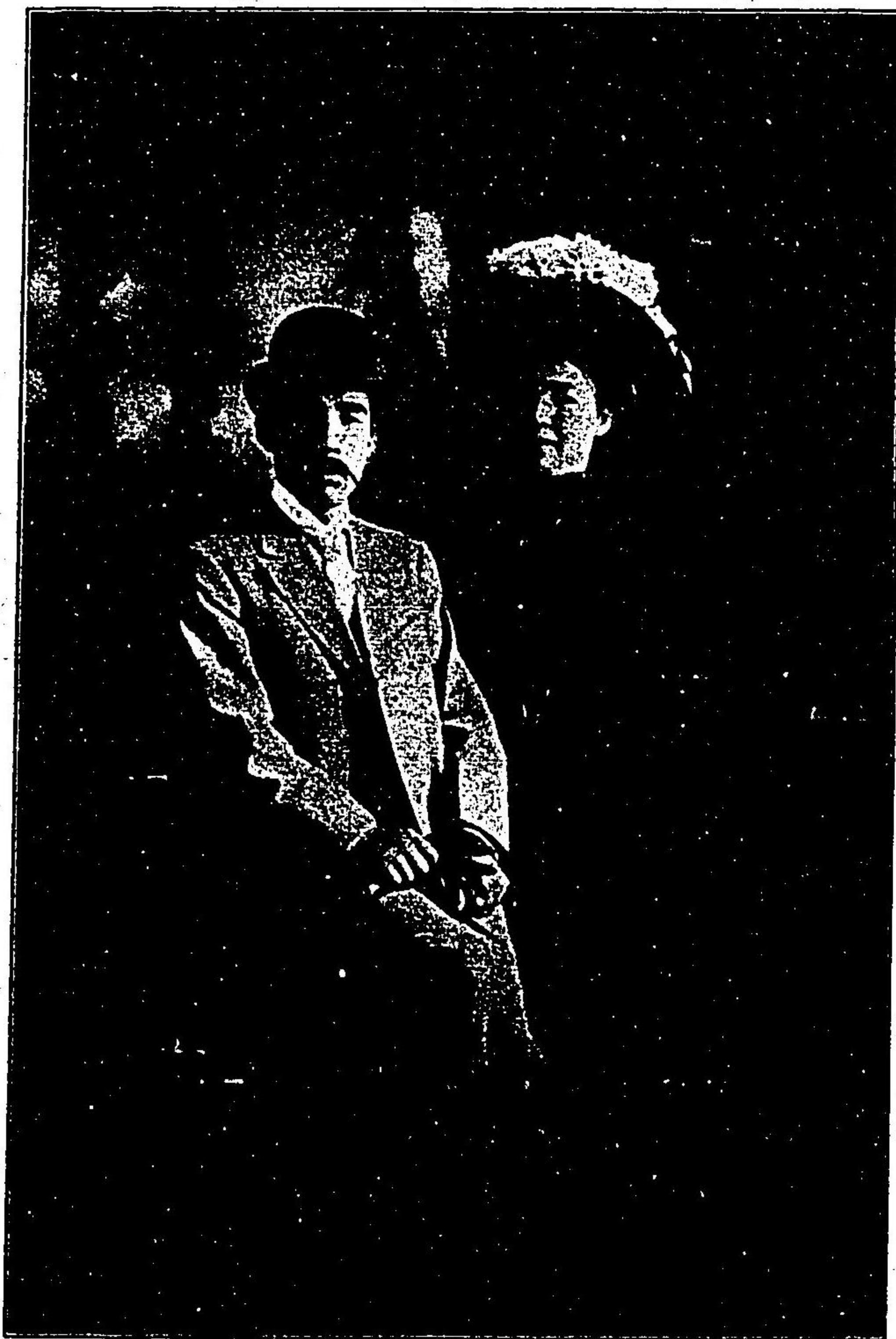
布市附近リードレー 山口縣人中村萬福等經營の桃苗木園の實景



後列向て右より  
前列向て右より  
福永坂 岡村七五郎  
中村惣十郎 岡本新吉  
藤崎太之助 岩崎喜三郎  
吉仲久吉



布市附近スプロック 竹本久米太郎の葡萄園と住宅



主會商一シ、一ビ、一エ、一ラツフ  
妻夫耶太源内竹

以外の者十七人あり、是等を通じて男八百三十八人、女四十三人あり、日本人街は東メーン街の西、支那人街と相接して、三四年前より種々の營業を爲すもの大に其數を増加せり、然れども近時日本人労働者の歸朝するもの多く、新に渡米せる者少きが故に、稍々其活氣を消沈せるの觀あり、現時に於ける營業者を區別すれば、商店二、洋食店二、日本料理店及飲食店三、旅館四、菓子屋一、豆腐屋一、理髮店三、湯屋二、玉突場四、洗濯業二、桂庵二あり、此地始めて日本人の労働者を見たるは、明治三十一年の頃にして、當時已に同胞の對支那人醜業者一戸ありたりと云へり、間もなく加州果物罐詰會社に日本人労働者を使用するや、東京の人松江某、寺澤松之助等労働者を率ひて會社に入り、市街營業者としては明治三十三年、たまり屋と云へる下宿屋始めて開業せられ、明治三十五年に至り同胞の來り住する者漸く多く、其後罐詰會社に山口縣人星出新穂、群馬縣人金子孝太郎等入りて労働者を監督し、金子は今尚該會社にあり、始め罐詰會社に日本人の入りたる頃、神奈川県人山口忠三、山本ジョージ等労働者を率いて農園に入り、市街労働と共に其發達を助けたる事少からず。

ツラレ郡日本人會、始め日本人協議會と稱したりしが、明治四十一年十二月、ツラレ郡日本人會と改め、明治四十二年一月總會を開きて新に役員を改撰し、其後多少の更迭あり、現時四百名の會員ありて、會費を負担する者百名、バイセリヤ、ツラレ、ダイニユーバ、リンゼー、エキス

ター、ファーマスピル、レモンコープ等の各地を含有す、現時の役員として左に掲ぐ。

- 理事 金子孝太郎 副理事 隅田嘉一
- 参事員 小西 實 宮崎愛次郎 東野市之介 星出新穂 河野才吉 日濱一郎

其他代議員の数を定むる事左の如し。

- 一區 (五名) 二區 (三名) 三區 (二名) 四區 (二名) 五區 (二名) 六區 (一名)

- 七區 (一名) 八區 (一名) 九區 (一名) 十區 (一名) 十一區 (一名)

日本人長老教會 明治四十一年四月の創立にして、有志の寄附金を集めて家屋を建築し、ミッス、ボーチの監督に屬し、英語夜學校あり。

「ジャイアントオーク」バイセリヤの東にありて、ファーマスピルと相隣し、バイセリヤより汽車の便あり、桃、葡萄、ブルーム等の果樹園多く、此附近日本人労働者五六十人あり、同胞の事業としては、熊本縣人田上岩次郎外三名の收穫折半の契約果樹園四百英町あり、他に山口縣人藤村文太郎、バイセリヤの果物鐵詰會社の果樹園を契約して、之れに數十人の日本人労働者を入るるあり。

「ファーマスピル」バイセリヤ及びジャイアントオークの間にある部落にして、キュープランチと云へる果樹園は特に有名なり、山口縣人湯川壽三郎、明治三十三年、園内の労働を契約し、其部

下に三十名内外の労働者を使用し、多忙の時期には八九十人を使用す、他に日本人の事業を見ず。「エキスター」バイセリヤの東九哩に位置し、南太平洋鐵道の分岐點として、交通の便多く、近時オレンジ園の開墾せらるゝもの多く、南加州リバサイドに次で、加州に於けるオレンジの主産地たらんとす、桃、アップリカット、葡萄等を産する事少からずして、近く二三年の間閑散なる農園の部落は、變じて市街地の状態を爲すに至れり、此地日本人の土地所有者一組、其面積三百五十英町、他に労働者のキャンプを有する者二名あり、此地方労働者の數平素百名内外あり、一般の在住日本人凡そ三百名内外あり、土地所有者及び労働供給者は左の如し。

土地所有者

山本 房楠 (和歌山縣)	合 計 三五〇英町
岡崎 金吾 (同)	作物内譯
大木 政吉 (同)	一五〇英町 桃
今井幸次郎 (岡山縣)	五〇英町 葡萄
山本熊之助 (和歌山縣)	七五英町 麥
	アルハルハ
	三五英町 アプリカット
	四〇英町 ブルーム

労働供給契約者

- 高橋豊治 (熊本縣) 労働者八十人内外 藤本常三郎 (和歌山縣) 労働者十五人内外

「サルタナ」郡の北境、ダイニユーバの東にあり、葡萄酒多く、日本人営業者は、旅館一、玉突場一あり、其他に農園労働供給者二あり、土地所有者としては山口縣人三村飛佐雄の葡萄酒二十英町あり。

「オロシ」サルタナの南東に接し、日本人労働供給者三名あり、日本人の發展地としては尙ほ微たるを免れず。

「リンゼー」エキスターの南五六哩にあり、日本人の労働者二名あり、各二三十人の労働者を供給す、オレンジ園及び果樹園少からず。

「オレンヂハースト」日本人の農園契約者一組、及び労働供給者三名あり。

「カウキー」ジャイアントオークの北に接する部落にして、日本人の労働供給者二名あり。

「エテム」オロシの南サンタフキー鐵道線路の附近に在る部落にして、バイセリヤの北十里の所にあり、また日本人の労働供給者二名あり。

ダイニユーバ フレスノ郡リードレーの南に連なり、其間六哩を距つ、ツラレ郡の北境エスピ鐵道に添へる小市街地にして、七八年前より遂かに發達の氣運を有するに至れり、オレンジ、葡萄酒等を産す、日本人市街は驛の西にありて、支那人街と混同し、現時日本人の數遙に支那人の上に出づ、廣島縣人宮地喜太郎労働者を率ひて白人の農園に入りたるを初めと爲し、爾後中村喜代

三、前田寛次郎等相次で此地に入り、漸く日本人の居住者を見るに至れり、前田の此地に入りたるは、明治三十五年三月にして、現時の日本人街は其後二年を経たる頃より、急に發達せるものにして、爾後日本人にして土地を所有するもの續々として生じ、此附近に於ける日本人發展地として遙に其勢力の他を凌駕するものあり、現時土地所有者七名にして、内宅地を有する者二名農園の所有面積凡そ百英町、現金借地者十五名此借地面積四百六十六英町、歩合耕作者一名其面積三十英町あり、市街營業者としては、商店四、旅館四、料理店三、玉突場三、理髮店一、牛乳搾取業一、豆腐屋兼煙草菓子屋一、湯屋一あり。

土地所有者

松井 徹	(長崎縣)	二〇英町	葡萄
前田寛次郎	(廣島縣)	二〇英町	桃
古屋 伊作	(山梨縣)	四〇英町	葡萄
上田、鳥羽、清水	(滋賀縣)	二〇英町	同
	(福井縣)		

ツラレ バイセリヤの西南八哩、布市を距る事南七十九哩の所にあり、郡内バイセリヤに次ぐ

市街地にして、地味肥沃なるを以て、近時葡萄、桃を栽植するもの少からず、土地の多くは尙ほ牧場に委せられ、養豚事業は現時最も有望なるものとせらる、此地方の豚は肉質極めて佳良にして、市場に高價を有す、葡萄は主として食卓葡萄にして、フランスよりも早出の地とせらる、甜菜は二三年前より試作せられたるも、海岸地に遠く霧少きを以て、植物に必要な濕氣に乏しき欠點なきに非ず、現時尙ほ試作中にあり、日本人街は市街の一端に支那人街と混同し、商店一、旅館二、料理店及飲食店二、理髪店一あり、附近に日本人労働者のキャンブ九ヶ所あり、農園多忙の時期に於ては、労働者の此地に入るもの二百五十人内外にして、平素日本人の在住者百二十三人なり、明治三十二年山口縣人星出新槌、労働者を率ひて此地に入りたるを日本人在住の初と爲す、之より先き星出はバイセリヤに來り、漸次労働區域を擴張して、ツラレの附近モンガマリーのペーデランテに入りたるが、當時白人労働者は異人種の侵入を防がん爲め種々の迫害を爲し、銃丸星出の身邊を掠めて飛びたる事あり、是に於て團主は車上に武器を用意し以て其出入を警戒せしめたる事あり、現時日本人の土地所有者五名、其面積四百四十九英町、現金借地者四組、此面積五百五十英町、歩合耕作者二人、此地而六十五英町あり。

土地所有者

星出 新槌 (山口縣)

八〇英町

葡萄、桃

東野市之進 (兵庫縣)  
城 友次 (熊本縣)  
河野 才吉 (廣島縣)  
野口 末吉 (熊本縣)  
緒方平九郎 (同)

三〇九英町

四〇英町 葡萄、桃

二〇英町 葡萄

ツラレ郡成業列傳

△東野市之進 兵庫縣武庫郡大社村の産にして、明治七年生る、二十七年故國を出帆して、翌年一月英領加奈陀に上陸し、ポートランドにて英語を學ぶ事二年餘、三十年九月加州に來り、偶々サンノゼに至り、白人の家庭に労働せしが、時恰も果物の收穫期にして、園内の労働を爲すに至り、初めて農園の趣味を解し、後ちワッソンビル及びフランスノ等の農園に入り、屢々窮境に陥りしが、遂に決心してセルマの地百英町を三人にて借地し、葡萄及び果物を經營して一年各參百弗の利益を得、翌年二人の共同事業としてまた一人六七百弗の利益を得たり、是れ當時に於ける日本人社會稀有の成功にして、爾後セルマの地、日本人の歩合耕作者大に其數を増加するに至れり、是れ明治三十二年の事にして、爾後其事業を繼續する事二年にして、當時葡萄の價額年々騰貴し、

此際に於て、彼現時の基礎を成す事を得たり、已にして一年サクラメント川下地方の大農作を試みたるも、再び歸りて他と共同し、百七十五英町の葡萄園を経営する事四ヶ年、遂に七千九百弗にて、ツラレ市の附近に土地三百九英町を買ひて是れに葡萄及び果物を栽培して、永住的の計畫を定め、現時ツラレ郡第一流の農家たり、初め貳拾五弗を以て買ひたる地、目下一英町五拾弗を下らず、農馬十頭及び牛三十餘頭を所有し、住家及び農場の規模宏壯なる事、此地方日本人社會、また其比を見ざる所なり、性温厚篤實、頗る長者の風あり。

△星出新植 山口縣大島郡蒲野村の産にして、明治五年生る、明治二十七年渡米してバンクーバーに上陸し直に桑港に來りて、暫くスクールボーイとして、労働の傍ら英語を學び、居る事數ヶ月にして、アラメダ郡の果樹園に入り、爾後フランスノ、バイセリヤ、オークスナード等の農園及び鐵道に労働する事三年餘、偶々オークスナードに於て、ユニオン騒動なるもの起るや、加州を去りて南米の境に入り、ニューメキシコ、オールドメキシコ、テキサス等の各州を歴遊して事業を起さんとしたるも、皆意に適するものなく、終に再び加州バイセリヤに歸りて、伐木及び農園の契約事業を爲して始めて利益を得、已にして此地モンガマリー葡萄園の契約を爲さんとするや、白人の労働者彼に對して暴行を加へ、一發の銃丸彼の頭上を掠めて去る、是に於て彼は暫く敵の銃鋒を避くるが爲に、轉じてスオール、プラン等の農園を契約して之に労働者を入れ、其翌年エ

キスターに農園の契約を爲さんとするや、一夜百餘の白人労働者又襲來して彼を包圍し百方脅迫して其地を去らしめむとす、當時彼の配下二十人に過ぎず然れども彼は機敏に其包圍を脱し、園主に應援を求めて其危険を免るゝを得たり已にして少しく人心の鎮靜に歸するや、屢々懐柔の手段を施して漸く事なきを得たり、彼れ農園事業の傍ら、バイセリヤに於て洋食店及び旅館を開業し、營業大に繁榮し利益また少からず、明治三十九年ツラレの葡萄園四十英町を買ひ、翌年之れを賣却して更に八十英町の地を買ひ、之に桃及び葡萄を植ゆ、家屋及び納屋を建築し所有の馬十六頭あり、別にベカスフィールドに於て土地六百四十英町を借入れ、之に葡萄を植ゆ、曾てツラ

レ郡日本人會の理事に推さる。  
△星出彦平 星出新植の實弟にして、明治八年生る、明治三十三年渡米してポートランドに上陸し、兄新植のフランスノに在りたるを以て、往て之に頼り、附近の農園に働く事二ヶ月、ベンチエラ郡に入りて、鐵道及砂糖大根園に労働し、後ちバイセリヤに來りて兄弟共同して、果樹園労働の契約事業を爲す事一年、其れより洋食店を営みたるも暫くにして之を止め、セルマに至りて、ジャーマンホテルを開業し、白人客に對する貸室營業を爲し、更にバイセリヤに來りて、山林の樹木を買ひ之を伐出して、利益を得る事尠からず、爾後薪材販賣の事業を繼續して現時に至り、更に明治四十二年收穫分配作にて葡萄園六百英町を契約し、また現金五百弗にて果樹園六十英町

現金千弗にて荷荷園百英町を借入れ、キャンプを三ヶ所に設け、馬十三頭を有す、彼れは此外に於て山梨縣人中村庄一と共同し、資本金貳千弗にて東洋ホテルと云へる旅館を経営し、傍ら玉突場を營業す、伐木事業の如き一昨年の収入壹萬參千弗に上り、明治四十二年の如きは伐出高の少かりしに拘らず、尙ほ五千弗を賣捌きたりと云へり、以て其事業の大なるを知るべし、現にツラレ郡日本人會の會計たり。

△山本寛治 山口縣大島郡蒲野村の産にして、明治九年十月生る、明治二十九年布哇に渡航し野菜店其他の商店に勤務する事三ヶ年、三十四年桑港に轉航して直にサクラメントの農園に入り此内に留る事五ヶ年、曾て園主マクレーのセントルイス博覽會を見物するや、留守を彼に託して其兒の用を辨せしめ、其後彼を抜擢して、ハツプス園四百二十英町の勞働監督たらしむ、後ち之を辭してブラサ郡ニユキヤスルに旅館業を營み、傍ら農園を契約して、之に勞働者を入れたるに二年間にして千七百弗の損失を爲すに至り、該地を去りてフレズノ市に來り、運送業を始めたるに、僅々三ヶ月に純利七百弗を得、其れよりバイセリヤに來り福壽亭と云へる日本料理店を買受け、之を營業して一ヶ年優に千弗の貯蓄を爲し、直ちに六百弗を日本に送金したり、而も是れ彼が渡米以來最初の送金にして、此送金の着したる日は、彼の父死去したる翌日にして、恰も葬式の當日なりしと云ふ、已にして明治四十二年三月料理店を他に譲りて、現金千弗にて、サンセツ

ト、オーチャードの果樹園百二十英町を借り果樹園の經營を爲すに至れり、現時七頭の馬を所有し、平素七八人の勞働者を使用す、今より六年前妻フジエを迎へ、一男一女あり、明治四十三年更に料理店を開き妻をして之を經營せしむ、彼れ性頗る率直にして、却て人に愛せらる、曾てマクレーの農園にあるや平素飲酒を嚴禁せらる、而も彼れ一日サクラメント市に出で酒舖に入り酔ふて市内を徘徊す、卒然人あり後より來り彼の標を攫みて車中に投ず、之れ主人マクレーなりしなり、已にして歸來一室に閉鎖せられ酒醉頗る覺めて、深く其過を悔ひ爾後大に改むる所ありと云へり。

△金子孝太郎 群馬縣の産にして、明治七年一月生る、明治二十四年米國に渡米し、初め家内の勞働の傍ら英語を研究し、其後所々の農園に勞働したりしが、バイセリヤに於ける加州果物會社の日本人勞働監督者寺澤松之助の其任を去るや、彼れ其後を襲ふて同會社日本人勞働者の監督となり、爾後殆んど十年間、勤続一日の如く、會社の彼を信用する事頗る厚く、現にツラレ郡日本人會の理事に推さる。

△上原林五郎 熊本縣天草郡宮地村の産にして、明治元年生る、明治二十七年四月、英領加奈多に上陸して、砂市及び桑港を経てサクラメントに至り、一時農園に入りたるが、明治二十九年サクラメント市に出で、九州屋旅館を開業し、三十二年十二月之を他に譲りて一旦歸朝し、三十三



年八月再び渡米し、翌三十四年二月ロースアンゼルスに至り、北サンビードロ街に天満屋旅館を開業し、三十六年三月之を他に譲りて、其翌月同地コンマシヤル街に旅館及び玉突場を開業し利を得る事尠からず、三十八年十月歸朝し留る事二年餘にして、四十一年六月、三度渡米し羅府に至り、以前の營業を他に譲りて、中央加州ダイニューバに來りて、農園に働く事數ヶ月、同年十月バイセリヤに入り、片岡某と共同して、ノースイースト街に、わけばの亭と云へる料理店を開業して現時に至れり、羅府在任以來、日本人社會公共の事に盡したる事少からず。

△藤村高治郎 廣島縣甲奴郡稻草村田房下市の産にして、明治十四年生る、三十五年一月布哇に渡航し、カワイ島コロアの地に於て勞働する事二年、三十七年七月桑港に轉航し直にワツソンビルに至り、甜菜園に勞働する事二ヶ月、同年十月サンノゼの農園に入り、爾後所々の鐵道に勞働して貯蓄を爲し、明治四十二年五月バイセリヤ市ノースイースト街に於て、青木一郎と共同し、毎月四拾五弗の借家料を拂ひ、玉突場を開業し之に投する所の資本金壹千五百弗なり現時一ヶ月の總收入參百弗餘なりと云へり。

△松浦勘次郎 滋賀縣高島郡松木村大字柏村の産にして、明治十五年生る、明治三十三年四月横濱を出帆し、タコマに上陸しシャートルを経て桑港に來り居る事四年、此間家內的勞働に従事し、就中シーシルホテルに在る事二年八月、勞働の傍ら英語を修め、布市に來りて、サルタナの地

二十英町を買ひたるが、後ち之を賣却して、明治三十九年ダイニューバ停車場の附近にて、資本金貳千參百弗を投じて日東商會を開業し食料品及び雜貨の販賣を爲し、以て今日に至れり、爾後附近に日本人農園の發達すると共に、營業頗ぶる繁榮して、現にダイニューバに於ける、最も信用ある商店と稱せらる、資性温良にして、品性の修養を重んじ、此地支那賭博の盛なるや、同志と共に大に風紀の刷新に盡したる事あり。

△前田寛次郎 廣島縣安佐郡日浦村の産にして、明治十二年四月生る、幼にして不幸なり、甫め二歳にして母を喪ひ、十三歳にしてまた父を失ふ、是に於て夙に勉學を廢し屢々行商に従事す、知るもの之を感み、同情を傾けて之を買ふもの多し、已にして其姉、山口縣土族山崎誦道に嫁し、依て一時其内に寄寓す、義兄山崎彼に訓へて曰く、男子獨立の氣概なかるべかず、苟くも依頼心を生ずる事勿れど、已にして明治二十九年臺灣の我領土となるや、彼れ機を利用して商利を得んと欲し、建具其他の商品を仕入れ基隆に渡航したり、而も荷造の完全ならざりしを以て意外の損失を爲し、遂に臺北に至りて荒瀬商店に入る、店主彼を愛し前途大に望を有したりしが、偶々山林を買ひて失敗に歸し、終に意を渡米に決し、明治三十二年を以てタコマに上陸したり、乃ちサクラメントに入りて、暫く農園の勞働に従事し、其れよりアリゾナ州に入りて鐵道に働く事暫時明治三十三年ロードレー宇山某のキャンプに入りて、葡萄園の勞働に従事し、後ちダイニュー

バに至り白人ウキリアムの園地に労働供給の契約を爲して、爾後八年間、熱心に労働を繼續して現時に至れり、彼れ始めて此園地に入るや、僅か二十人の労働者を供給するに過ぎざりしが、現時葡萄收穫の時期に於ては、百人以上の労働者を使用するに至り、其附近の園主また彼を信用して、葡萄園の經營を委任するもの多く、彼の契約せる地面已に三百六十英町に達し、年々得る所の利益少からず、明治四十年一英町九拾五弗にて、土地二十英町を求め、是に葡萄を植付けて已に四年を経過せるを以て、目下一英町の價參百餘弗に値すと云ふ、此地方最も勢力ある資産家たり。

△山本房楠 和歌山縣海草郡 東山東村字黒岩の産にして、明治元年生る、明治三十一年布哇に渡航して、砂糖耕地の労働に従事する事五年、三十七年五月二十七日桑港に轉航し、其れより一ワード、及びサンジョセ等の農園に労働し、其年八月十九日フレスノに來りて葡萄園に入り、同村人出口甚之助のブルーム園を經營するあり、之を助けて一年多額の收穫を得、後此園地を引受けて自ら之を經營したるも、果物の市價低落したるを以て損失を蒙り、偶々同縣人岡崎金吾等桑港の震災後、布市附近に來るあり、是に於て彼れ岡崎等と共同して、バイセリヤの附近エキスターに於て、一英町百四拾四弗にて四百英町の果樹園を買ひ、地代は之を十ヶ年賦と爲し、經費七千弗を以て其經營に着手し、現時馬十三頭を飼養し、傭人十數人を以て此大果樹園を經營す、

土地買收後已に葡萄五十英町、桃十英町を植付け現時平均一英町の價格百七拾五弗乃至百弗の間あり、サンジョークイン平原中日本人の土地を所有するもの多し、然れども斯の如き高價の地所四百英町以上と有するもの、彼等を措て他に求むべからず。

△岡崎金吾 和歌山縣日高郡上南村の産にして明治十六年九月生る、明治三十三年五月渡米して桑港に上陸し、留る事六年、學僕として労働の傍ら熱心に英語を學び、或は白人の家庭に入りてコックたりし事あり、明治三十九年桑港震災の後、キングス郡ハンホードに至りて、果樹園の労働を契約し、三十六年十月バイセリヤに來り、山本房楠のエキスターの土地四百英町を買はむとするに際し、進んで其志を共にし乃ち同志大木政吉、山本熊之助、今井幸次郎等を糾合し、始めて此一大果樹園の事業を經營するに至れり、彼れ年齢最も少きに拘はらず、夙に英語の素養あり、資性爽邁、明敏にして周囲の信頼する所となり、山本房楠また彼の性質を愛し、一切の事を彼に委して毫も疑ふ所あらず、殆んど此一大農園の經營は、一に彼の双肩に擔ふて立つの觀あり、由來和歌山縣人は郷黨相頼るの情に強く、他と釋然相解くるに難し、獨り彼に於ては然らず一度彼に接するもの颯爽人意を快にするものあると共に、温和の氣、春風の楚々人を動かすに足るものなきに非ず、彼の如きは加州實業界中、最も前途に望を屬すべき好個の人材なりと云はざるべからず。

△湯川壽三郎 山口縣玖珂郡小瀬川村の産にして、文久元年生る、明治二十六年渡米して桑港に上陸し市内の労働に従事する事一年、其よりスースンに至りて二三ヶ月間農園に働き、後ちフレノに來りて葡萄園に働く事二ヶ月、後ち南加州ロースアンゼルスに至り、リバザイド地方のオレンヂ園に労働して、二十八年バイセリヤに來り、日給壹弗五拾仙にて、エプロと云へる白人の園地に労働する事五年、其信用を得たるが後ちフアマスビルに來り、キューブランチと云へる、此地方有名の果樹園に労働の供給を爲して、爾後十一年の久しき勤勞一日の如く、平素配下に使用する所の労働者三十人内外にして、收穫時期に於ては九十人乃至百人の労働者を使用すと云へり、明治三十九年故國より妻を迎へ既に三子を擧ぐ、フアマスビル地方農園契約業者として、廣く其名を知らる。

△高橋豊治 熊本縣天草郡手野村の産にして、明治十一年十一月生る、明治三十三年三月、長兄儀七郎、次兄幸四郎と共に相携へて渡米し、砂市に上陸し直に桑港に來り居る事四ヶ月、兄弟三人皆農園に入りて労働す、豊治は其後サンタクララ郡、サンジョセ、ダンベル及びアラメダ郡アルバート等に至り、後ちバイセリヤに來り、エキスターのメルマンランチに於ける藤井某のキャンブに入りて、オレンヂ園に労働するに至れり、既にして藤井の歸國するや、園主は高橋を信用して農園を管理せしむるに至れり、此キャンブに使用する労働者は日給壹弗五拾仙にして夏期は二十

人内外冬期多忙の時期には六七十人を使用し、年々其事業を擴張して現に此地方最も勢力を有す、長兄儀七郎は始め所々の農園に労働せしが、豊治のメルマンランチを管理するに至り、來りて其事業を助けつゝあり。

△田上岩次郎 熊本縣上益城郡木倉村の産にして、明治十六年生る、三十二年バンクーバに上陸し、伐木に従事する事一ヶ月、其れより叔父某を頼りて加州サクラメントに來り、フロリンの地に於て苺の耕作を爲す事三年、其後南加州に至り、ローサンゼルス及びリバサイド等に於て、野菜園及びオレンヂ園に労働し、曾てサンタモニカの附近、ソルジャスホームの野菜園に入りて其園内の耕作を一任せられたる事あり、此際宿料及び食費の外月給五拾弗を得、其後南加州を去りてバイセリヤに來り、加州果物鐘詰會社に労働してまた貯蓄する事少からず、明治四十二年十一月、四人の共同にて、ジャイアントオークの地に於て三百五十英町の果物園を借り、收穫折半の契約にて之を経営し、現に同地方の大農家たり。

第八節 カーン郡日本人發展地の調査

カーン郡はサンジョークイン平原の南端に位置し、東はサンバナデノ郡に界し、西はサンルイスオビスポ郡に限り、北はインヨー、ツラレ、キングスの三郡に接し、南はテハチベの峻脈を以

市ドルヒスカベ 岡野信助、山下安二郎の乳牛園

山下安二郎



岡野信助



市ドルヒスカベ 竹本房一の養豚園

て南加州、ロースアンゼルス郡及びベンチュラ郡に接す、全部の面積五百萬英町、内農産に適する地二十五萬英町にして、平地、高原、山地を包含す、石腦油、金、銀、銅、大理石、花崗石を産し、殊に石腦油は米國中最多額の産出地たり、郡内降霜なき地方十五萬英町には、蜜柑及びレモンを栽培し得べく、二百五十萬英町の原野には、牛馬及び羊を飼養し得べし、土地の買値は六拾弗より貳百弗の間にして(一英町)郡内の産物には蜜柑、檸檬、葡萄、胡桃、橄欖、無花果、ニククリン、ブルーイン、プラム、水瓜、キャンロップ、梅の各種、蜀黍、麥、アルハルハ、唐瓜、南瓜、砂糖大根、馬鈴薯、キャベヂ、カリフラワー、アスパラガス等を産す、千九百七年度に於て郡内より輸出せる産物として、石腦油壹千貳百萬弗、金參百萬弗、牛貳百萬弗、羊百萬弗、果物貳拾參萬弗、馬及び長耳馬七拾五萬弗、羊毛六拾萬弗、蜂蜜參拾萬弗なりしと云ふ、將來郡内の産額貳千萬弗以上に達するは遠きに非ざるべし、日本人の發展地としては、ベカスフィールドを以て中心となし、現時同市街及び附近に散在する日本人、凡そ四百人内外にして、年々増加の傾向あり。

ベカスフィールド

郡の首都にして桑港を距る事三百十四哩、土地の高度四百十五呎、人口一萬を有し、今より十五年前、附近に石腦油の發見せられてより、速かに發達の状態を呈し、鐵夫及び附屬せる労働者の集まる者多く、市街頗る活氣あり、近來カーンの市街地を合併して、市の



旗家耶太政林 市ドルヒスカベ

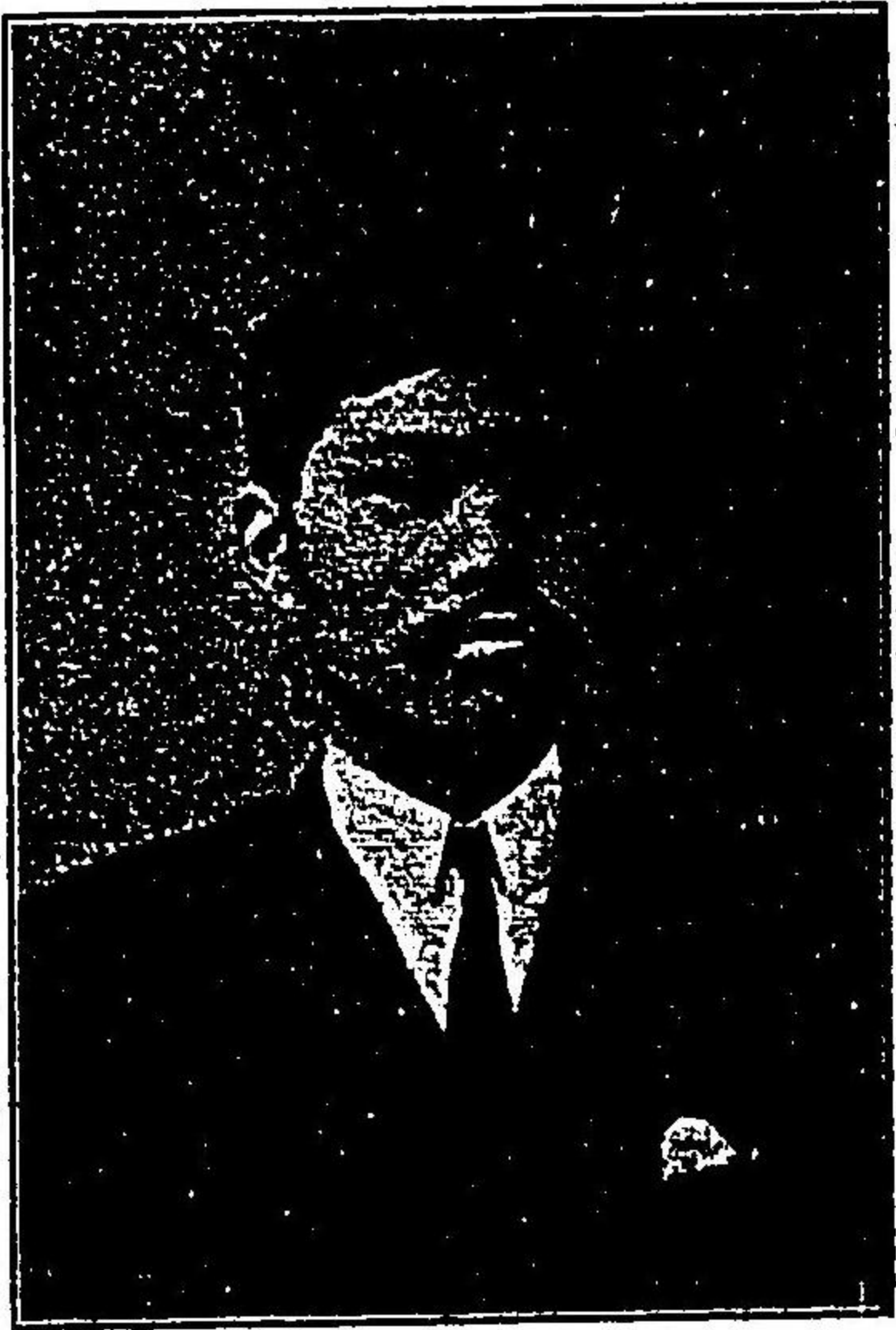


族家其及耶太角輪三 市ドルイフスカベ

市ドルロスカベ 茂静本竹者功成の店食洋



市ドルロスカベ 七郎太寺野小 者負受夫人社会道鐵



族家藏彦形小 計會會人本日ドルロスカベ 耶三總輪三 榮番牧 市ドルロスカベ

區域を擴張し、市街鐵道を敷きてカーン停車場とベカスフキルド市に電車を通ず、街路整然として銀行、會社、等規模の大なるもの多く、公然娼婦の營業區を定め其數二百餘に上り、以て労働者の吸収に勉む、市の西南十四哩の地にカーン湖あり、長さ七哩、幅四哩あり、此の湖水より六哩にして、ブエナビスタ湖水あり、また市の西南二十五哩にして、オイルライルドと稱するカーン郡の主要地石腦油の産出地方あり、其區域長さ八哩、幅三哩の間にあり、市の繁榮は實に之が原因を爲すものにして、發見の當時は六十呎の地下に鐵油を發見したるが、現時は五百呎乃至千呎の地下より之を吸上す、附近は扛重機の林を爲すを見る、日本人は支那人街の附近、エル街及び二十一街の交叉點を中心とし、十九街、二十街、エム街等に散在す、市内營業者としては、洋食店三、旅館三、玉突場四、理髮店二、料理店一、商店二、湯屋一あり、其他サンタフキー鐵道停車場に、列車磨き人夫のキャンプあり、宮城縣人小野寺太郎七、之を監理し、常に四十人の労働者あり、また石腦油の産出に三三十人の日本人労働者あり、此地は他に比して、労働者の給料高く、全加州中殆んど其比を見ず、是れ土地偏在して労働者を得るに難きと、一般生活費の高きに依れり、乃ち普通コックの給料二ヶ月五拾弗乃至七拾五弗、酒屋及び商店のボーダーにして毎月六拾弗乃至七拾五弗を得るもの少からず、理髮賃の如き一回五拾仙なり、以て其他を類推すべし、日本人にして始めて此地に入りたるは、今より三十二年前、六十人の日本人労働者、ラ

ンドコンパニーの傭人夫として、入り来りたるを始めと爲す、當時人夫供給の元請たりしは、横濱の豪商西村喜三郎にして、其代理人たる宮原六郎は、桑港に出張所を設けて、此會社に一萬人の労働者を供給せんとし、峰島義一、松岡謙、敷津某等其間に立ちて通辯の任に當りたるが、契約者と労働者との間に紛擾を生じ、六十人の労働者は其業務を抛棄して、此地を去るに至れり、此労働者中今尚ほ此地に留りて、業務に従事するものを、和歌山縣人林政太郎と爲す、是より先き同縣人林留松なる者、此地の富豪テベスの家庭に傭はれ、主人の信用を得て爾後二十餘年間、其職務を勤続し、現に此地に於ける同胞の先輩として其名を知らる、此二人は乃ち此地同胞の先入者と云ふ事を得べし、已にしてランドコンパニーに使用せし六十人の同胞此地を去や、會社は再び一二の日本人を直接に使用するに至り、和歌山縣人村上捨松等其會社の労働に従事するに至れり、斯して明治二十八年の頃、長野縣人田中孝平等此地に入るに至り、日本人の數漸く増加するに至れり、明治三十二年の頃、村上の竹細工店を市街に開業するに至り、始めて日本人の營業者を見るに至れり、當時市内在住の日本人は僅に三人の醜業婦ありたるのみ、而も明治二十九年に於ける此地石腦油の発見は、最も急激なる労働者の需用を喚起するに至り、爾後日本人の數年々増加して今日の現狀を爲に至り、而も尚ほ市街の發達すると共に、同胞社會また大に發達せんとするが如し。附近農園業 市内營業の外、附近農園に於ける日本人の發達は、其日尚ほ淺きに拘らず、着々と

して其地盤を作り、前途最も有望なる状態にあり、土地所有者四名、所有地三十一英町、現金借地者十二名、借地四百〇六英町、歩合耕作者一名、借地三百英町あり。

土地所有者

- 岡野 信助 (山口縣) 二〇英町 (牛乳及養豚)
- 山下安次郎 (和歌山縣)
- 三輪惣三郎 (山口縣) 五英町 (養豚)
- 田中 孝平 (長野縣) 六英町 (花園)

現金借地者

- 長尾 愛三 (青森縣) 五五英町 (牛乳業)
- 河村竹三郎 (同)
- 岡野 信助 (山口縣) 五〇英町 (牛乳業)
- 山下安次郎 (和歌山縣)
- 三輪惣三郎 (山口縣) 四〇英町 (馬鈴薯)
- 西田 國太 (岡山縣) 四五英町 (林草)
- 河崎武右衛門 (岡山縣) 四英町 (野菜)
- 竹本 房一 (和歌山縣) 七英町 (養豚)
- 松田多三郎 (山口縣) 二〇英町 (牧畜)
- 岩脇 恒一 (山口縣) 六〇英町 (牧畜)
- 前田 新平 (香川縣) 二〇英町 (牧畜)
- 榎次 (廣島縣) 五英町 (養豚)

△日本人會 明治三十七年協議會を組織し、明治四十二年三月之を日本人會と改む、現時百二十

餘の會員を有す、役員としては、理事に田中孝平、副理事に下司卯吉、幹事に青野長三郎、會計に小形彦藏、三輪角太郎あり。

△佛教青年會 明治四十二年四月十八日の創立にして、會員七十名を有し、會費は毎月貳拾五仙とす、始め圓福常照其創立に力を盡し、現時山崎開教師之を監督し、會の財産として貳百弗を投じて建築せる、一の會員寄宿舎あり。

附 石腦油の事

加州に於ける石腦油は、現時世界中最も大なる産出物なりとす、千八百五十六年の頃加州ロスアンゼルス附近に発見せられたるものは、之を精製する事を得ずして、一時不用のものとして認められたるが、其後此製油方は、ベンチユラ郡ニューホール及びビュエンテの油に於て成功の域に達したり、加州の温泉地帯は桑港の北より、南メキシコの國境に至る間、沿岸の山脈に添ふて存在する事は、疑ひなき事實にして、ロスアンゼルス地方の油原も、十年間の經驗にて年々精良のものたるに至れり、初めのもの地下百呎の所にて、油層を発見したりしも、現時は大抵千呎内外の所に多く発見さる、而して斯の如き深地層の油は、火力強く其質佳良なるのみならず、其湧出量また大なりとす、早く発見せられたるものは、一日平均十樽内外に止まりしも、近時発見せられたるものは、二十四時間内に於て、百樽若しくは其以上を湧出す、時とし

ては、其油の間歇的に漂動する状態を認むる事あり、之れ油面の瓦斯の壓せらるゝが爲に見る現象にして、斯の如き場合に於ては、其地下必ず大なる油液の存在する事を知るべし、加州に産する油はペンシルバニヤ産のものど、少しく其質を異にし、其液體中には Kerosene Base の代りに土瀝青質を含有し、從て燈火の用に使用すべからず、其比重は一五にして、其質濃厚、特種の沈澱を爲して、從來発見せられたるもの、中にて、最上の燃料とせらる、此外また印刷用の墨料工業上の塗料に使用せられ其販路極めて廣し。

加州に於ける石腦油の産額は千九百一年に於て凡そ八百萬樽にして、現時カーン郡及びサンタバーバラ、ベンチユラ、フレズノの四郡を主として南加州ホイデヤ、ヒュエンテ、ロスアンゼルス各地に分賦し、油井の數約二千にして、殊にカーン河畔にある、オイルフキールドには大小五百の油井ありて、フレズノ郡コーリングまた近來頗る油産地として、大なる發達を爲し、ベンチユラ郡サンタポーラに産出するものは、最も火力の強きものとして知らる、近時鐵道會社が、汽罐車の燃料及び車體の塗料に使用する額少からず、之が爲に會社の消費を節略し得る事頗る大なりと稱す、今其統計を示せば左の如し。

千九百九年加州に於ける石腦油産地



地方

産額

ヒューレルトン、ブレア、カンヨン	四、二七一、〇〇〇 <small>樽</small>
ビユーエンテ	三八、〇〇〇
ホイデヤ	八四八、八〇〇
ロースアンセルス	五二九、九五六
ニユーホール及サンタポータ	五一六、七七八
サンマールラント	六六、三〇〇
サンタマリヤ、ラムホーク、アールロヨケランテ、	八、〇八〇、四八八
カーン河畔	一四、五〇八、二九二
ガシセツト	一、九九九、八〇〇
ミツドウエー	二、二三四、四五六
マキトリツク	五、八〇七、二二二
コーリンガー	一五、四〇六、六〇〇
ワツソソビル及サーセント	六三、七九九
ソートレーキ、テテストリクト	三、八二一、二三三

合計産額五八、一九一、七二三樽

千九百年より千九百九十年に至る十ヶ年間、石臘油輸出高

千九百年	四、〇〇〇、〇〇〇	千九百五年	三四、二七五、七〇一 <small>樽</small>
------	-----------	-------	-----------------------------

千九百一年	八、〇〇〇、〇〇〇	千九百六年	三二、五一六、〇〇〇
千九百二年	一三、九七三、五〇〇	千九百七年	四〇、一〇一、三六〇
千九百三年	二四、三三七、八二八	千九百八年	四八、三〇〇、七五八
千九百四年	二四、四二三、八六〇	千九百九年	五八、一九一、七二三

カーン郡成業列傳

△林政太郎 和歌山縣那賀郡王子村大字東野の産にして、明治元年生る、明治二十五年七月十日桑港に上陸し、直にベカスフィールドに來りて、ランドコンパニーの勞働に従事し、二十六年三月去りてバイセリヤに至り、一時伐木事業に従事したりしが、病に罹り桑港に出づ、當時米國經濟界の不景氣其極に達し、病軀醫藥の料に欠乏して、境遇最も悲惨を極む、已にして病漸く癒るや再びバイセリヤに歸りて、伐木に従事したるも、儲主賃金を支拂はざりしを以て、同志六人と共に、其所有の馬二頭に荷車一臺を曳かせ、サクラメント地方に至り、ハツプスの摘採に従事し、更にリドモア郡の葡萄園に勞働し、其れよりサンジョセに至りたるが、降雨連日一の勞働口を得る事能はず、乃ちライツに至りたるも、また降雨久しくして滞在中の食費に之を償ふ事能はず、已にしてワツソソビルに至り、果樹園に勞働する事數ヶ月間、漸く食費を辨じて故國に多少の送金を爲す事を得たり、之よりサンタクローズに至り、一週間參弗五拾仙の給料にて、コッ

クの見習たりし事數月、已にしてベカスフィールドに歸り、ランドコンパニーに入り多少の貯蓄を爲す事を得て、横濱洋食店を開業し、之に従事する事二三ケ年間、始めて此地に於ける成業の基礎を作る事を得たり、後之を他に譲りて更に日本洋食店と云へるを開業し、明治三十九年に至り更に食料品及雜貨店を開き、利を得る事少からず、是に於て資本金貳千五百弗を以て新に家屋を建て、貸室營業を爲したるが、後此家屋は白人地主に賣却し、現時専ら力を洋食店の經營に盡せり、彼れベカスフィールドに在る事已に二十餘年、其資産を積む事貳萬餘弗、同郷の青年彼に依て援助を得る者少からず。

△小野寺太郎七 宮城縣本吉郡鹿折村の産にして、明治十二年生る、明治三十三年布哇に渡航し、砂糖耕地に勞働する事三年、三十七年桑港に轉航し直に羅府に至り、スクールボーイとして勞働の傍ら英語を修むる事一年、明治三十八年ベカスフィールドに來り、セントラルポイント及び油產地に於て、家内の勞働に従事する事暫時にして、後ちサンタフィー鐵道停車場の日本人キャンプに入り、エーヤーインスペクターの任務を命せられ、白人の技師アウインに付て其技術を研究する事一年半、明治四十二年二月、キャンプの監督者杉原某の歸國するや、衆の爲に推されて其監督者となり、以て現時に至れり、配下に四十人の勞働者ありて、また此地日本人社會の成功者と稱せらる、現に日本人會の常議員たり。

△三輪角太郎 山口縣吉敷郡名田島村の産にして、明治九年生る、明治三十五年十一月布哇に渡航し、ヒロ市に於て家内の勞働に従事する事一年半、明治三十七年七月米本土に轉航し桑港よりベカスフィールドに來り、白人酒舖の店務に従事する事一年半、明治三十九年一月より此地最大商店ハクハマス商店に入り、多年忠實に勤続せるを以て、店主の彼を信用する事深く、爾後四年間勉勵一日の如く、現時一ヶ月の給料七拾五弗にして、彼の妻女子は家に在りて西洋洗濯業を開き白人の顧客少からず、また兼業としてルーム貸を爲し夫妻一ヶ月の收入百五拾弗を下らず、資性濃厚篤實にして、同胞社會彼を信用する事頗る篤く、二弟あり一を岡野信助と稱し一を三輪惣三郎と云ふ、各自事業を經營して資産を作る事少からず、此地日本人社會、財政の鞏固なる事彼に及ぶものあらず、現にベカスフィールド日本人會及び佛教青年會の會計に推さる。

△岡野信助 山口郡吉敷郡名田島村の産にして、三輪角太郎の弟、明治十二年五月生る、明治三十一年一月砂市に上陸し、桑港を経て布市に來り鐵道の勞働に従事する事六ヶ月、後ち葡萄酒に勞働し、更らに布市東洋商會に入りて店務に従事する事一年半、明治三十四年ベカスフィールドに來り、十一人の共同事業として、ランド會社の葡萄酒を契約し之を經營する事二年、收穫の結果によりて、其事業を抛棄し、後ち魚鳥肉類の販賣を爲す事一年半、意外の利益を得、明治三十九年二月更に黒人某より、六百五拾弗にて乳牛十頭及び土地家屋を買受け、牛乳搾取販賣の

事業を始め、忍耐よく其販路を擴張する事を得、利益を得る事また少からず、明治四十年一旦歸國し、其十一月再渡米して、ベカスフキルドに來り更に養豚事業に従事する事一年、四十一年十二月より和歌山縣人山下安次郎と共同して、土地五十英町を借りて、牛乳業を始め、現時乳牛二十八頭を有し、一ヶ月の收入四百弗乃至四百五十拾弗に達せり、別に一英町百五十拾弗の土地二十英町を買ひ、之を他に貸付して一ヶ年貳百弗の賃料を得、現時地價騰貴して、一英町貳百五十拾弗を値するに至れり、資性順良、白人社會の彼を信用する事頗る厚しと云へり。

△三輪惣三郎 三輪角太郎、岡野信助の弟にして明治十五年一月生る、彼は二兄と其經路を異にし、其故國に在るや、郵船會社汽船に乗組員たる事六ヶ年、ボンペー、マルセル、ロンドン、ニューカッスル、メルボルンより、白耳義のアントワール浦港、支那沿岸の諸港より、北米シャートル等皆至らざるなく、明治三十六年六月布哇に渡航し、曳船の船員として月給貳拾弗を得、之を勤積する事一年十一ヶ月、明治三十九年四月桑港に上陸して、ベカスフキルドに來り、始め九ヶ月を家内の勞働に費し、一ヶ月五拾弗の給金を得たりしが、此地牧畜の有望なるを見るや、資本金百六拾弗を以て種子豚六頭、子豚十五頭を買ひて、養豚事業を始め、八ヶ月にして四百弗の利益を得たり、彼れ此事業を妻の弟長田逸之進に譲り、其後サンタフィー鐵道會社に勞働し、月給六拾弗乃至七拾弗を得、九ヶ月にして其勞働を止め再び養豚事業を始め之を經營する事一年七

ヶ月、後之を賣却して明治四十三年一月より土地四十英町を借り、馬四頭を所有し、秣草及び馬鈴薯を作れり、彼れ明治四十一年一英町百五十拾弗にて土地五英町を求め一ヶ年五拾弗にて之を他に貸付せり、此土地現時一英町の價貳百五十拾弗と唱ふ、また二兄の成功に恥ぢず。

△山下安次郎 和歌山縣有田郡廣村の産にして、明治十二年生る、明治三十一年ヴィクトリヤに上陸し、月給拾弗にて農園に勞働する事六ヶ月、其より桑港を経てバカビルに至り、二週間にしてサクラメントに出で、川下地方オーナツグロブの砂糖大根園に勞働す、後ち布市に至りて葡萄園に働さ、またサンタマリヤに至りて大根園に働さ二ヶ月にして桑港に出で、ブラサ郡ペンリオンに至りて果樹園に勞働する事八ヶ月、また桑港に出で家内の勞働を爲す事六ヶ月またフレスノに至りて葡萄園に勞働する事四週間、更に市内家内の勞働を爲す事十一ヶ月、其れより養鶏事業を起して之を經營する事一年、之を他に譲りて更に農園に働く事半ヶ年、明治三十九年一月竹本房次郎と共同して牛乳業を始め、一年にして之を他に譲り、更に山口縣人松田多三郎と共に牛乳業を經營する事一年にしてまた之を止め、四十一年十二月より山口縣人岡野信助と共同して牛乳業を經營するに至れり、性樸直にして事業に勤勉す、岡野の經營と彼の敏捷とは彼等の事業をして、現時の盛大を爲さしめたるものか。

△松田多三郎 山口縣吉敷郡嘉川村の産にして、明治六年生る、曾て穀物商たり、明治三十七年

七月桑港に上陸して直に、ベカスフキルドに來り、ランド會社に屬して勞働に従事する事四ヶ年、勤勉努力貯蓄する事少からず、明治四十一年二月、和歌山縣人山下安次郎と共同して、牛乳業を始め、乳牛二十頭、馬四頭を有したりしが、後ち之を山口縣人岡野信助に譲り、山下と分離して金七百弗の借地料を拂ひ、ベカスフキルド市を距る事五哩字スタインといへる所の土地百英町を借りて、之に秣草を作り、後ち増加して百二十英町とし、現に馬八頭を所有し盛に農業に従事し傍ら牧畜を營む、現時事業に投じたる資本金貳千五百弗にして、一ヶ年の總收入七千弗に上れり、ベカスフキルドの地山口縣人の成功者最も多しと爲す、彼の如き在米日尙は淺きに係らず、獨力よく現時の大農園を經營して、此地方大農業者の班に入る、また異數と云はざるべからず、現にベカスフキルド日本人會の常議員たり、長男勝江年漸く十六歳、明治三十九年五月砂市に上陸し直に櫻府に着す、父之を迎へてベカスフキルドに來り、村上商店の店務に従事する事一年、餘暇を以てベカスフキルド公立小學校の一學年に入り、學業の進歩著しく一ヶ年の間に三學年に進級したり、已にして村上商店を辭し父の農園に入りて其業務を助け、傍ら學校に通學して、現にベカスフキルド小學校の第六學年にあり。

△小形彦藏 山口縣大島郡八代村の産にして、明治八年生る、明治二十九年布哇に渡航し、砂糖耕地に勞働する事四ヶ年、已にして米本土に轉航しバイセリヤに至り、實兄小形梅吉の經營せる

洋食店の業務を助け、後ちベカスフキルドに來り家内の勞働を爲して、貯蓄する所少なからず、明治三十六年一旦歸國し留る事二年、明治三十八年再渡米を企て、南米墨西哥國サリナクローツに着し、夜行する事二十六夜にして首府に達し、更に半ヶ年を経て北米の國境に至る事を得たり、其途中の困難想像の外にして、炎暑に苦しみ、飢渴に瀕し、其間屢々危険を冒して、遂に南加州ロースアンゼルスに達する事を得たり、已にしてベカスフキルドに來り、曾て勞働せし白人の酒舖に傭はれて、勤続する事已に二年半、主人彼を信用する事深く、一ヶ月の給料七拾弗を下らず、其職務に勤勉なる事同胞社會稀に見る所なりとす、現に三輪角太郎と共に、ベカスフキルド日本人會の會計たり。

△竹本房一 和歌山縣那賀郡宿村の産にして、明治二年生る明治三十二年六月英領加奈陀パンクローバに上陸し、直に砂市に至りて農園に勞働する事二ヶ年、後ち加州フレズノに至り、葡萄園に勞働する事四ヶ年、其れよりサクラメント及び羅府に轉じ、更にベカスフキルドに來りたるが、明治三十八年より養豚事業を始め、翌年一月之を他に賣却して、更に和歌山縣人山下安次郎と共に、資本金千弗を以て牛乳屋を買受け之を經營し、明治四十一年之を賣却して一旦歸國し、四十二年三月再び渡米し、またベカスフキルドに來り以前の經驗に依て、直に養豚事業を始め盛に其業に従事す、近年豚肉の價頗る騰貴し、其利益少なからず、また此地の成功者に數へらる。

△山良熊治郎 和歌山縣東牟婁郡大地村の産にして、明治五年八月生る、曾て濠洲に渡航し、眞珠の採集及び農業に従事する事數年、已にして歸朝し、明治三十二年渡米して、バンクーバーに留まり、鮭漁に従事する事六年間、三十八年妻を迎え、池田有親と暫く其事業を共にせしが、偶偶池田の金銀を發見するや、人夫監督者として其鑛山に在る事一年、後ち砂市に至りて一時旅館を營みしが、四十一年六月、ベカスフキルドに來りて玉場及び洋食店を開き、此地日本人社會の成功者たり。

△竹本静茂 廣島縣安佐郡安村の産にして、明治十六年生る、三十二年渡米してワシントン州タコマ市に上陸し、砂市に至りて洋食店に勞働する事四ヶ年、明治三十六年八月フレスノ市に來り洋食店のコックたりし事二ヶ年、三十八年三月ベカスフキルド市に來り、白人俱樂部の洋食部を受け、資産を作る事少からず、曾てベカスフキルド佛教會の起るや、發起人として盡力し、現にベカスフキルド日本人會及び佛教會の常議員たり。

△長尾愛三 青森縣弘前市の産にして、明治十三年生る、曾て東興義塾を卒業し、故國にて牧畜の經驗を有す、明治三十二年渡米して桑港パークレーの地に在る事六七年、市内勞働の餘暇學業に勉め、明治四十年ベカスフキルドに來りて、一英町六弗にて五十五英町の土地を借り、之れに秣草を作り、牛二十五頭、馬七頭を有し、牛乳業を經營す、共同者に河村竹三郎、小村榮美あり、

河村は同郷の出身にして、曾て青森縣第一中學校を卒業す、明治三十三年渡米して、長尾と共に桑港地方に在る事七ヶ年、家内の勞働の傍ら、バインの高等學校に學ぶ事三ヶ年、長尾のベカスフキルドに牧畜業を始むるや、共同者として其事業を助く、小村は同縣中津輕郡高屋敷村の産にして、明治十四年生る、三十三年河村と共に渡米し、來りてまた二人の事業に加はり以て今日に至れり、其志壯なりと云ざるべからず。

北米踏查大觀(上卷)終

明治四十四年一月十日印刷  
明治四十四年一月十八日發行

(定價金參圓)

著作  
專權  
所有

著者兼發行者 柏村 一介  
東京市芝區西久保廣町二十三番地林純一方

印刷者 神谷 岩次郎  
東京市日本橋區兜町二番地

印刷所 東京印刷株式會社  
東京市日本橋區兜町二番地

發行所

龍文堂

東京市芝區西久保廣町二十三番地



**天狗米**

▲天狗米を食せざる者は眞正なる米の味ひを知らず  
▲天狗米を食せずして米の善悪を論ずべからず

▲賣捌所は各食料品店にあり

サクラメント市第四街千百三十番

**安藝商店精米部**

**THE AKI CO.'S**

RICE MILLING DEPARTMENT

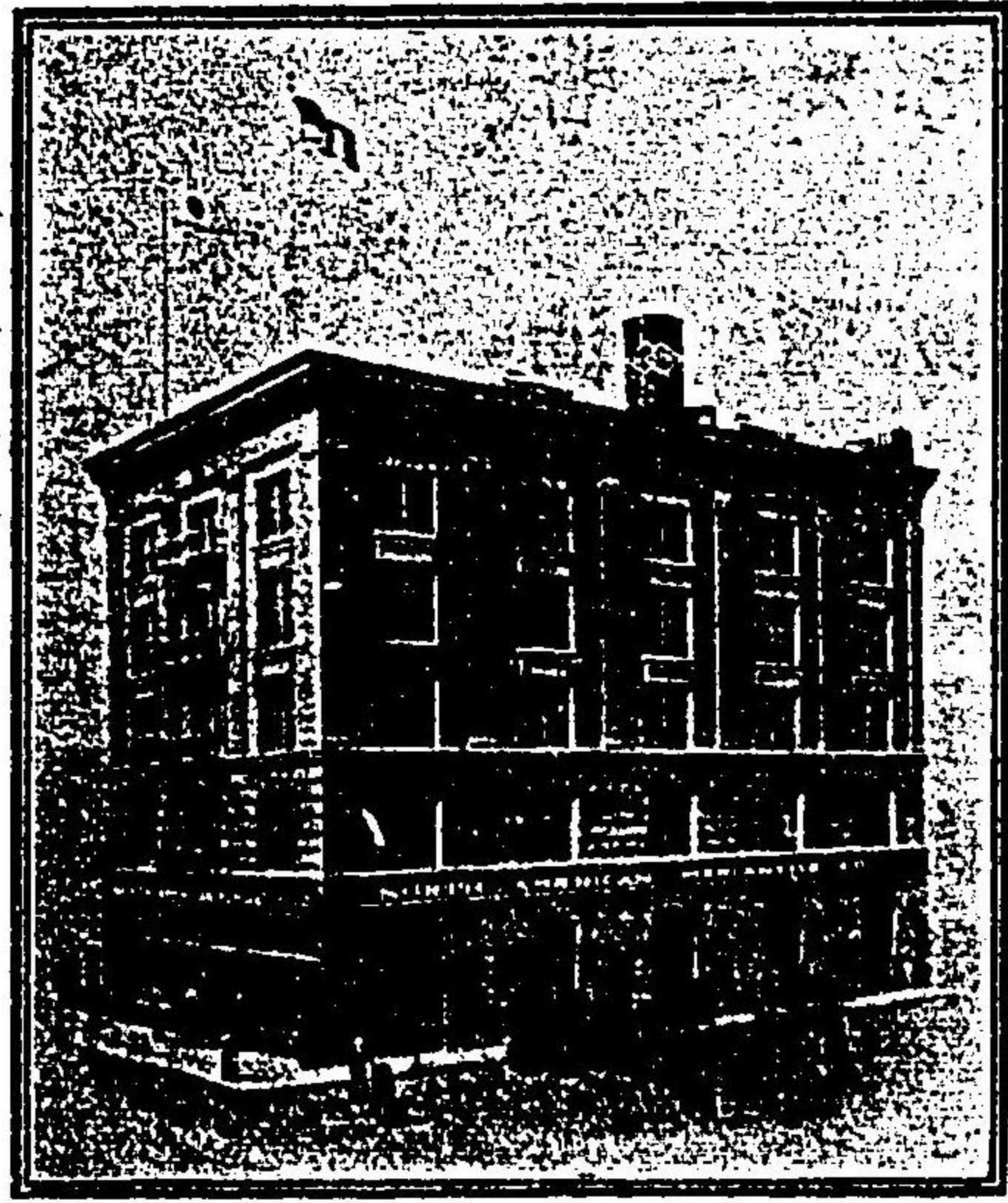
Office 1130 4th St.

Sacramento, Cal.

**米國賣捌書店**

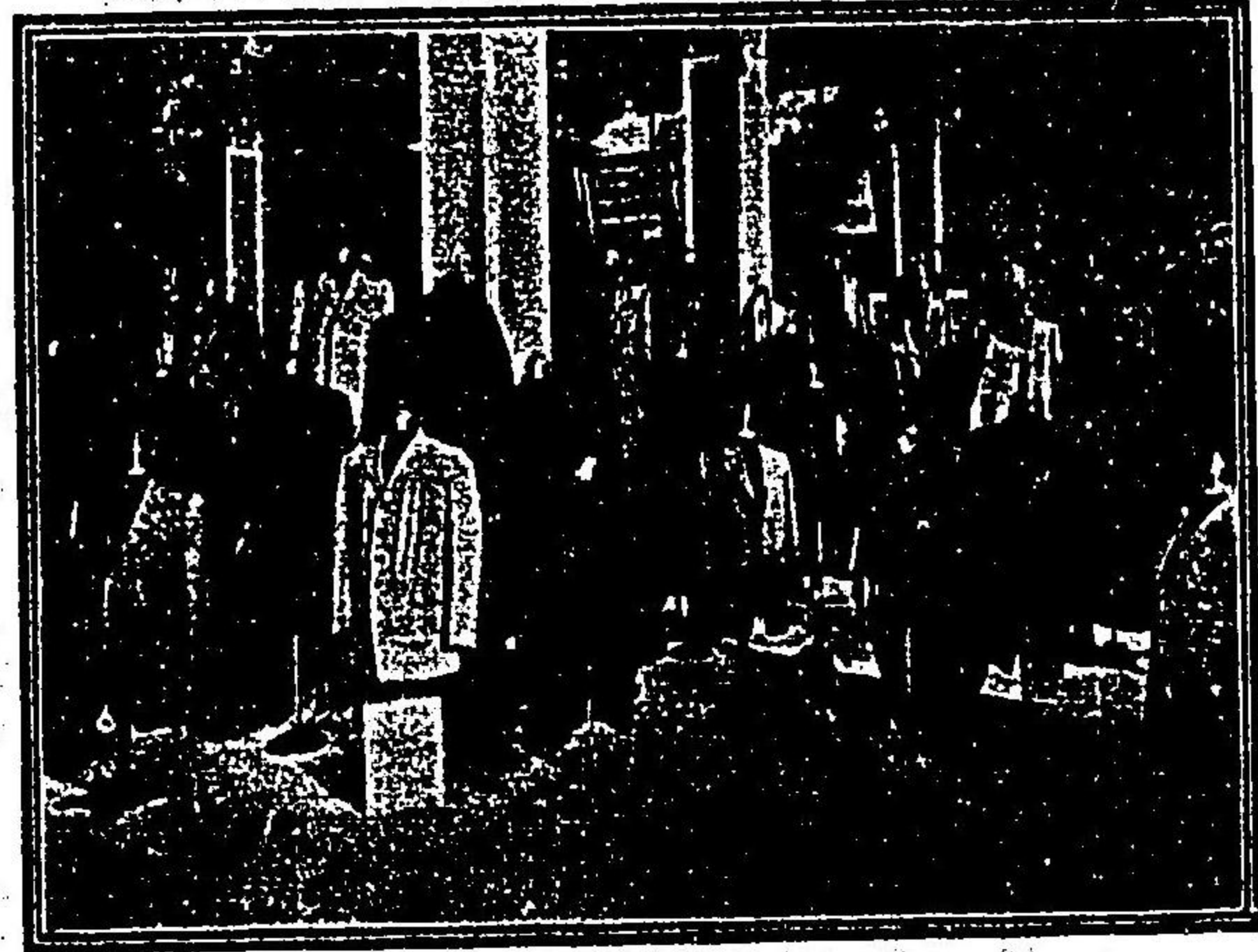
加州桑港市グリー街一、六〇一	青木大成堂
同 同市スタクトン街九五六	杉山商會
同 サクラメント市第四街一、一三〇	安藝商店
同 フレスノ市カーン街一、五四〇	神川兄弟商會
同 ローサンゼルス市東第一街三〇五	文林堂
同 同市西第六街六〇四半	松尾商店
同 リバーサイド市東第十四街一六八	吉田屋商會
同 サンタバーバラ市カーンバード街一〇六	藤壺商店

北米貿易株式會社



桑港フロント街 三三〇一

Merchant Tailors' Exchange, Garment Exhibition  
AT HOTEL ASTOR, NEW YORK CITY.



内外紳士用禮服  
並ニ通常服調達

技術卓越 鈴木貫一郎

イースタン洋服店

北米合衆國

加州オークランド市

テレグラフ大路參百拾貳番

電話  
ホーム A 二二五八

オークランド 五二五八



WHOLESALE AND RETAIL **THE HINOYE** (LADIES AND GENTS TAILORS) MERCHANT TAILORS  
 Phone West 6617 1610 1/2 Geary St., S. F., Cal.

**正札附洋服商**

信用を重んじ 責任を守る  
**ヒノエ組**  
**男洋服部**は  
 御婦人並に 紳士諸君の 御愛顧を希ふ

卸賣部  
 男女洋服、  
 小供服其他  
 裁物一切御註  
 文に應じ申候

ひのゑ屋洋服店

**T. KAGAWA COMPANY**

Sake Miso Canned Goods **IMPORTERS & DISTRIBUTERS** Cable Address "KAGAWA" San Francisco  
**SAN FRANCISCO, CAL.**

日本清酒  
 荒牧屋正宗  
 味淋酒  
 醤油  
 油  
 乾味物  
 漬物類  
 海産物類  
 諸罐詰

賀茂命酒  
 保命酒  
 耐酒

萬香果

◎輸入販賣品◎

卸問屋 香川支店  
 米國桑港  
 電話カーチー一ニ六三

食料品、花筵、卸商

桑港クレー街三三三

岡田市田商會

電話(ホーム)シス二〇〇三三

FUJII, TAILOR CO.

嶄新流行

加州サクラメント市

第三街一二〇六

藤井洋服店

電話(ホーム)三三六三八

M. ZAIMA CO.

1515, Geary Street, San Francisco, Cal.

桑港ゲリー街

一五一五

財滿時計店部

財滿雜貨店部

電話(ホーム)エス

二四七九

五胃強 臍丸 本舖

桑港オフワレル街一三六二

森藥舖

電話(ホーム)S二四三六

Uoki Fish Market.

鮮魚、鹽魚、  
蒲鉾、罐詰、  
野菜、果物類、  
魚、喜酒、井

桑港ゲリー街一五二九B

電話(ホーム)ウエスト二七七九

1529-B, Geary Street,  
San Francisco, Cal.

和洋菓子公司

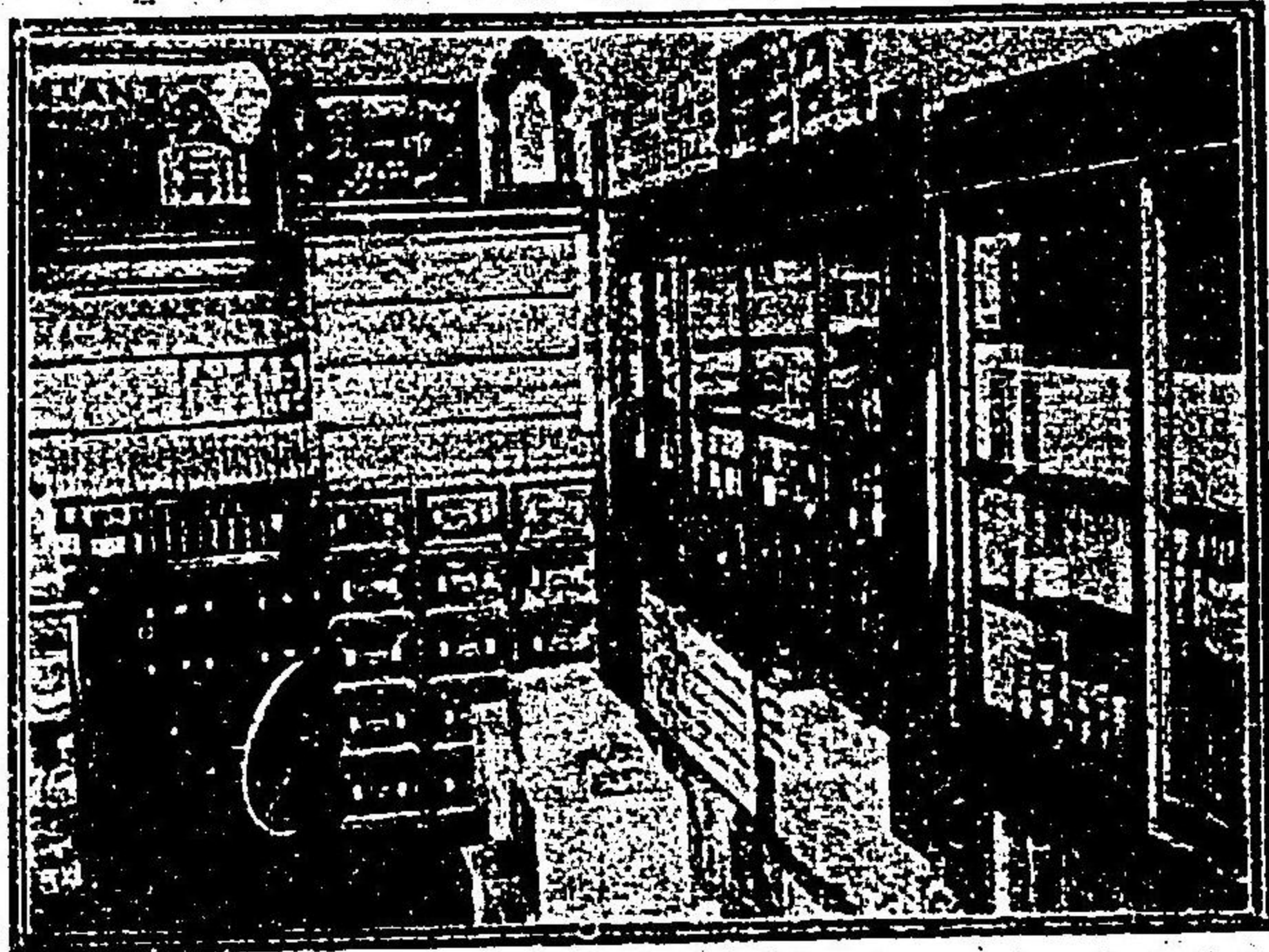
合同  
本店  
支店

駿河屋  
大阪屋

桑港ポスト街一六七〇

電話(ホーム)ウエスト五〇七〇

電話(ホーム)S三八〇八  
櫻府第三街二二一七半



最新改良諸賣藥  
一手販賣  
卸小賣大勉強

米國加州櫻面都市エル街三百〇五番

則近藥店

305, L. Street,  
Sacramento, Cal., U.S.A.



大勉強

金銀時計保險附並に附屬品一切

- ▲金側時計 ▲金側婦人用
- ▲銀側時計 ▲機械ウォルサム
- ▲同エルジン

桑港ラグナ街一六二三

三阪時計店

サター街とポスト街間

主人 三阪喜作

ダイヤモンド入指輪仕替、ピン類直し  
二十K、十八K、十四K、指輪細工並  
に彫刻一切  
御好により種々細工の御注文に可應候

金銀細工



K. MISAKA,  
1613, LAGUNA ST., S. F. CAL.

御菓子調進所

勉強堂

桑港ゲリー街一五三三B  
電話 ウエスト 七五三七  
ホーム 三四六五

新古時計並に自轉車大販賣

北米加州サンノゼ市  
ジャクソン街一九一

有田商店

191, Jackson, St.,  
San Jose, Cal. U. S. A.

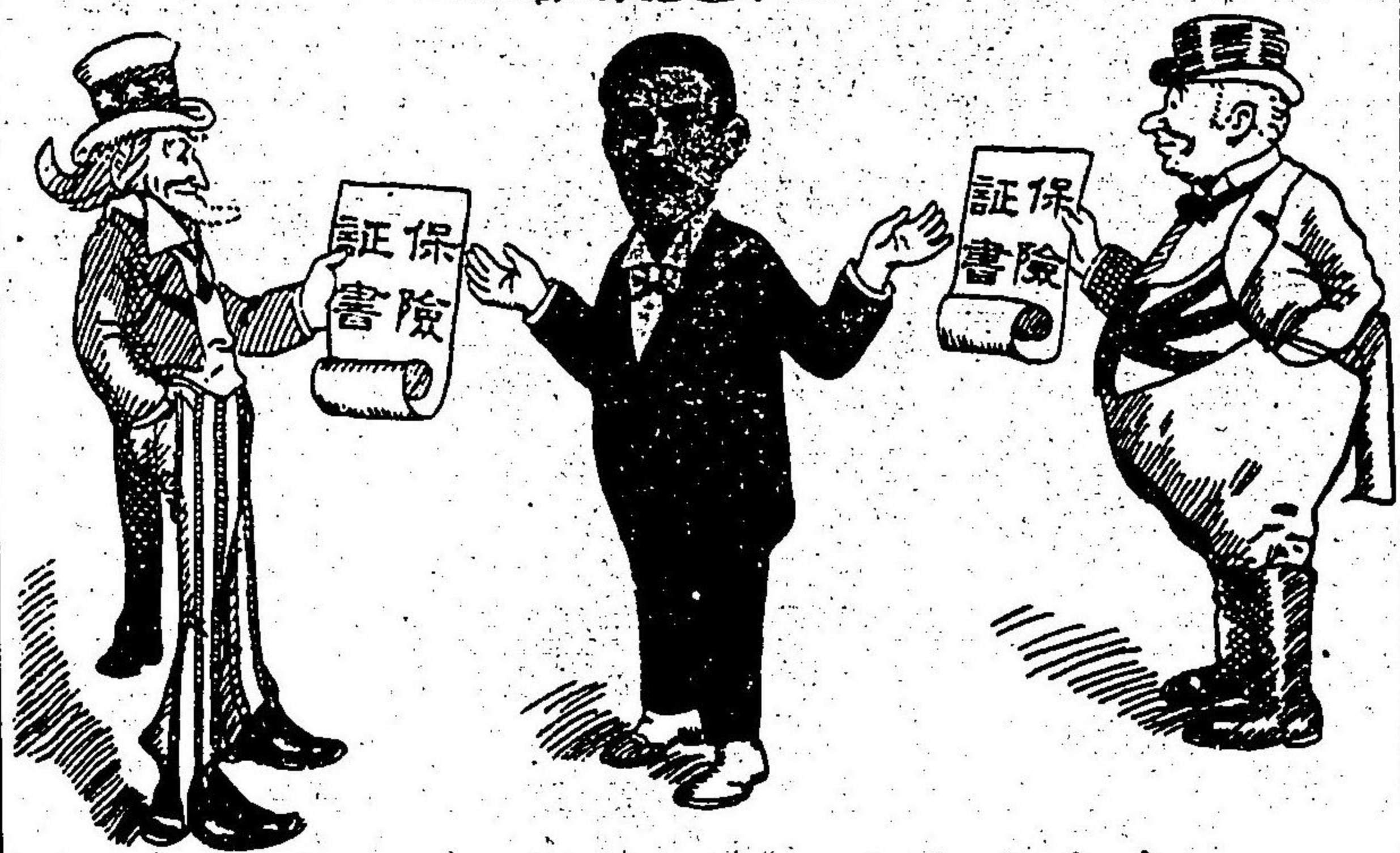
保 險

FRED F. MORIKAWA

GENERAL INSURANCE

2204 Fillmore Street., - - - San Francisco, Cal.

— TEL. WEST 9388 —



- ▲エクイテーブル生命及養老保険
- ▲英米兩國各大火災保険
- ▲北米不時災難保險
- ▲フライラデルファイア病氣保險
- ▲エトナプレート硝子及盜難保險

●何人にも最も  
必要なる物

森川福松

▲拙者儀右六種の保險會社の總代理人として過去十一年間保險業而已従事致居候に付諸君御加入せんと欲する時御一報被下候へば早速委細御通知申べく候謹言

事務所 北米合衆國加州桑港市  
 フィルモア街二二〇四  
 (電話) ウェスト九三八八

る け 於 に 店 服 洋 胞 同  
 者 利 勝 の 後 最

KANAZAWA TAILOR

557 PINE STREET, SAN FRANCISCO, CAL., U.S.A.

- △裁縫の精巧
- △フィット及びスタイルの優秀
- △價格の低廉
- △羅紗地及其他附屬品の善良



凡て卓越する事は他洋服店の比に  
 あらざる時は顧客諸君の定評也

北米加州桑港パイン街五五七

金澤洋服店

(電話) ホームC六七七七



製造元

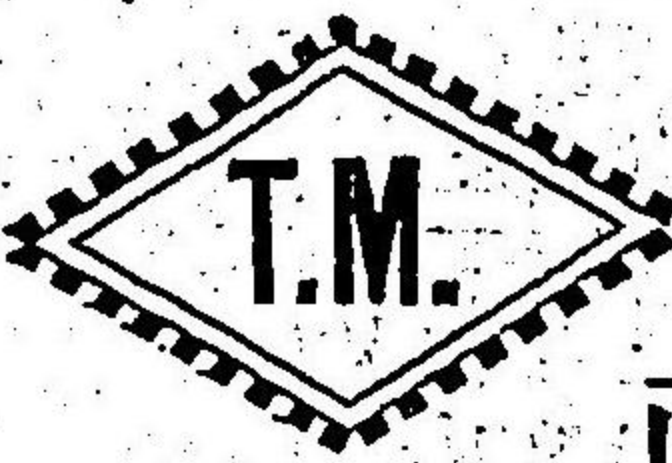
信濃商會

在米日本人製麵業の元祖

支那人ヌードル、卵入乾うどん  
 其外御注文次第製造可仕候  
 直接地方よりの御注文に應ず

- 乾 饅 飽
- 乾 蕎 麥
- 素 麵

北米加州王府第七街五百十七番  
 電話 オークランド 七四一九



415 SEVENTH STREET,  
 OAKLAND, CAL.  
 U. S. A.

増田商店  
 電話 オークランド 二二〇二

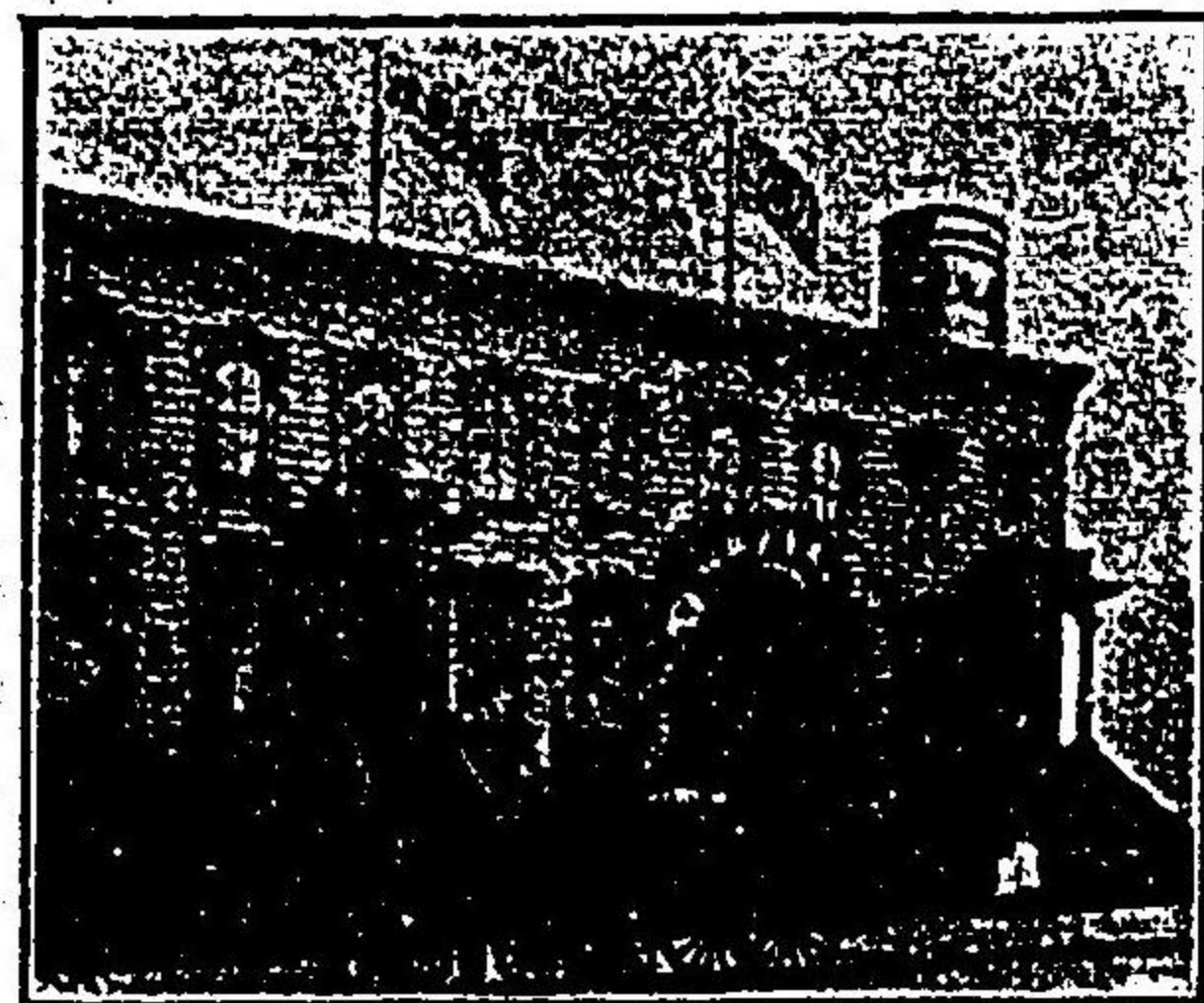
北米加州王府第七街四百十五番

直輸入卸小賣

◎ 食 料 品  
 ◎ 諸 雜 貨  
 ◎ 萬 小 間 物  
 ◎ 書 籍 雜 誌  
 ◎ 賣 藥 一 切  
 ◎ 精 米 部  
 は安價にて玄米を輸入し大  
 勉強にて精米販賣仕候

EIMOTO HOTEL

933-939-947 EDDY STREET, S. F. CAL.  
 BET. FRANKLIN AND GOUGH STS.  
 TELEPHONES: Franklin 1174. Home S. 2675.



北米加州桑港エデー街  
 九三三、九三九、九四七  
 永本旅館

各鐵道人夫募集  
 市内農園勞働口周旋  
 在米諸君にて妻君及親族御呼寄  
 の方は御通知に依り充分御便利  
 を圖り御歸朝又は新渡米者の方  
 は電報其他にて御通知被下候へ  
 ば早速停車場まで出迎仕ります

385  
110



**MORIMOTO,**

**SODA WORKS.**

827 F. St., Fresno, Cal.  
Telephon. 451 (China).

PHONE. MAIN 2073 TAKEMOTO, Prop.

**Takemoto's Store**

Furnishng. Goods, Notions, Fruits  
and Ice Cream

511 E. FIRST ST.,  
LOS ANGELES, CAL.

食料品  
和洋小間物雜貨  
並ニ果物類各種  
**竹本商店**

主人竹本音市  
羅府東一街五十一番  
(電話) トーン二〇七三

**HOKUBEI. & CO,**

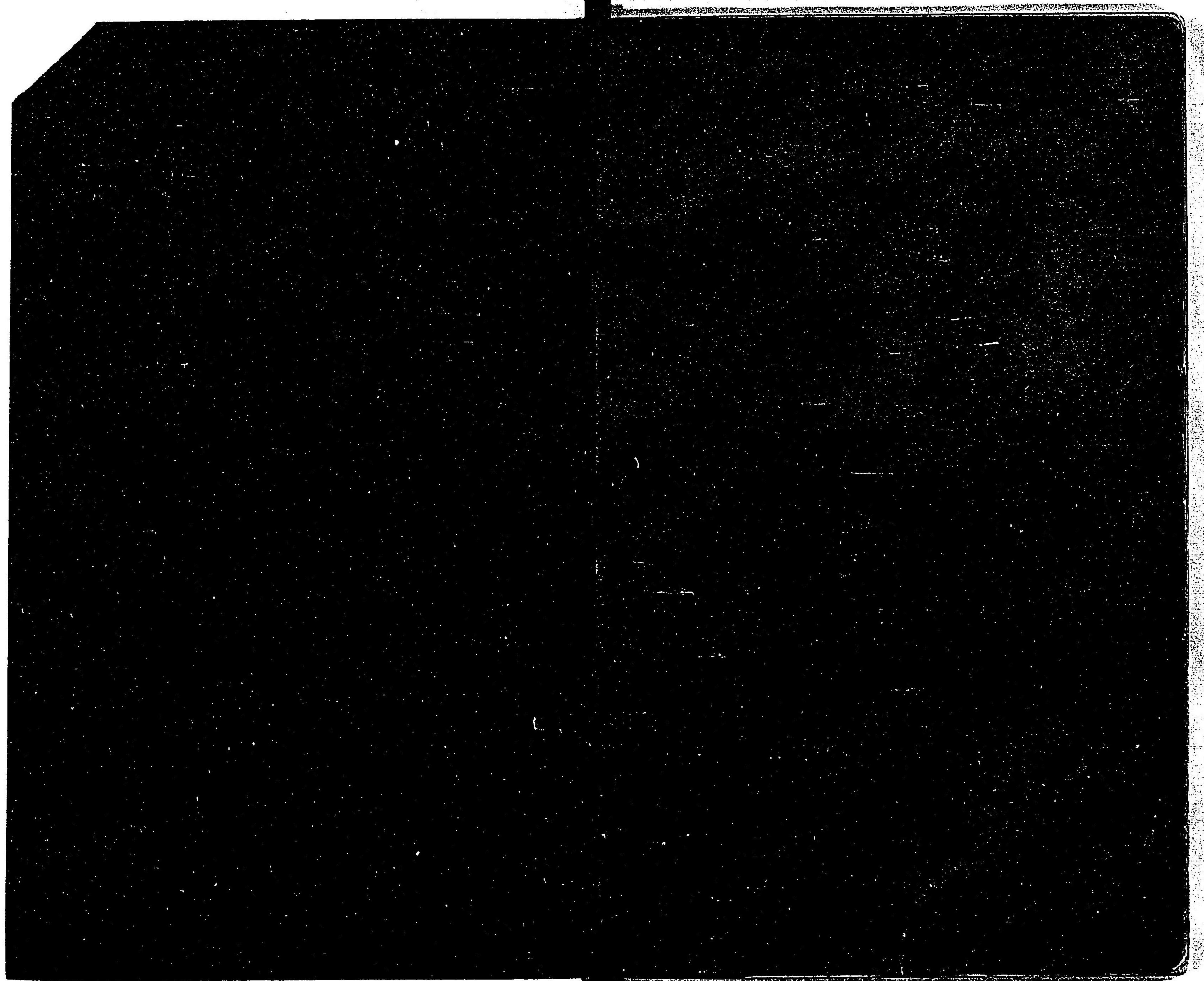
248 JACKSON ST. SAN JOSE, CAL.

日本食料品雜貨  
直輸入卸小賣  
并  
和洋小間物類

**北米商會**

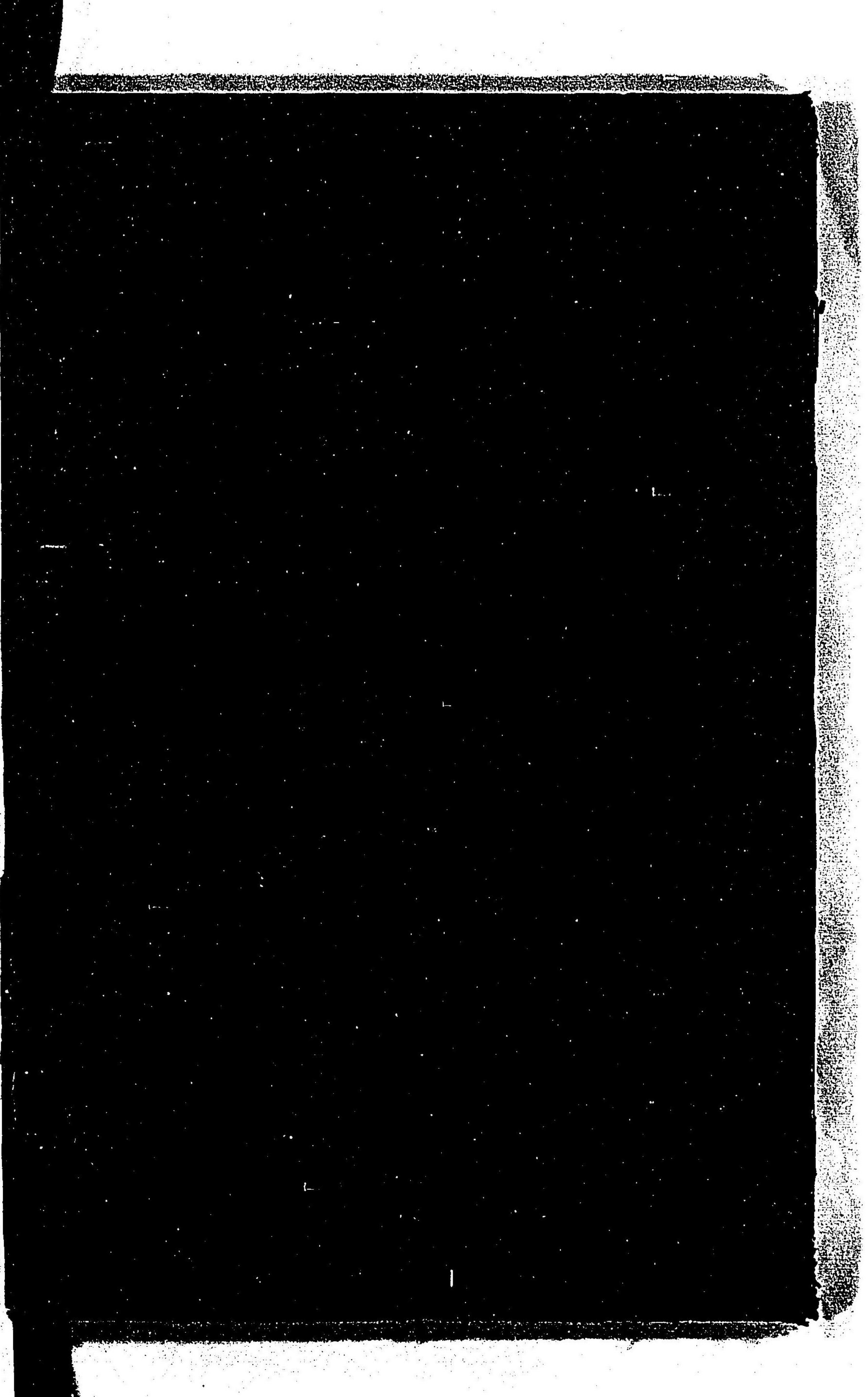
中村熊吉  
兒玉辨次郎

北米加州サンノゼ市  
ジャクソン街二四八  
電話ブラック五四六六



335  
110







026968-000-5

335-110

北米踏查大觀

柏村 桂谷/著

M44

ADG-0094

